

いま一度、新型コロナウイルス感染症を把握しよう 厚生労働省が『コロナ10の知識』を公表

厚生労働省は10月末に、新型コロナウイルス感染症の基本的な最新情報がわかる『10の知識』を公表しました。感染が拡大しつつある中で、一人ひとりが最新の知識を身につけ正しく対策を取っていくことが求められます。詳細は厚生労働省のホームページに掲載されており、今後内容は随時更新される予定です。今回は掲載された一部をご紹介します。

Q 日本では、これまでにどれくらいの方が新型コロナウイルス感染症と診断されていますか。

A 日本では、これまでに約96,000人が新型コロナウイルス感染症と診断されており、これは全人口の約0.08%に相当します。年代別では20代で最も多く、20代人口の約0.2%に相当します。 ※人数は2020年10月27日時点

Q 新型コロナウイルスに感染した人が、他の人に感染させてしまう可能性がある期間はいつまでですか。

A 新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間は、発症の2日前から発症後7～10日間程度とされています。 ※

また、この期間のうち、発症の直前・直後で特にウイルス排出量が高くなると考えられています。

このため、新型コロナウイルス感染症と診断された人は、症状がなくとも、不要・不急の外出を控えるなど感染防止に努める必要があります。

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第3版より



その他の『知識』は、厚生労働省のホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/>) でご確認ください。

あわせて、北海道からは新型コロナウイルス感染症が心配なときの対応が下記のように示されています。こちらもご確認ください。

